

〔三〕 次の問いに答えよ。

問二 次の傍線部のことばの用例として、最も適当なものを次から選び、かな符号で答えよ。

- ア 雨が激しく降っており、注意するきらいがある。
- イ 最後までがんばれば、うまくいくきらいがある。
- ウ 明日の午後には、台風が上陸するきらいがある。
- エ 彼を見ていると、頭がかたすぎる きらいがある。
- オ 彼は性格がよいので、友達が多い きらいがある。

問六 次の傍線部のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。

- (1) 新品とコウカンする。
- (2) 参加者をインソツする。
- (3) 安眠をサマタげる。
- (4) 森林を無計画に伐採する。
- (5) 行動を自重する。
- (6) 舞台に装飾を施す。

問三 次の文の□にあてはまる最も適当な漢字を次から選び、かな符号で答えよ。

- ライバルチームに快勝し、□がすくような思いだ。
- ア 頭    イ 目    ウ 胸    エ 腰    オ 足

問四 次の文の□にあてはまる最も適当な漢字を次から選び、かな符号で答えよ。

- 彼の演技は荒削りだが、将来性を感じさせる。まさに□完の神器だ。
- ア 非    イ 未    ウ 不    エ 否    オ 無

問五 次の中から、ことばの使い方が正しい文を一つ選び、かな符号で答えよ。

- ア 父の機嫌がよいのは、妹のテストが満点だったのだ。
- イ 良好な人間関係は、実りある仕事をする上で大切だ。
- ウ 表現力を高まることで、登場人物の感情を伝えたい。
- エ 私の趣味は、ギターを弾くことが何よりも好きです。
- オ 映画を見て、原作を読みたいという思いがかられる。

〈裏面にも問題があります。〉